

2月15日^(月)

<参加無料／申込制>

10:00～映写技師のための「フィルム映写ワークショップ」

10:00～12:00 初級編フィルムの扱い(補修／映写機の動作確認／巻掛けなど)

13:30～17:00 中級編映写機の調整【テーマ:Aチェーンの調整】

上映に深く携わる映写技師のスキルアップを目的としたワークショップです。初級編では、フィルムチェックから映写までの流れをおさらいします。上映機会が少なくなったことで、フィルムの扱いや映写機の操作に不安を覚えるという声を多く聞きます。上映プリント自体が貴重になってきている現在、改めてフィルムの扱い方を学ぶことで事故のない映写を目指します。

中級編では、Aチェーン(映写機のサウンド読み取り部～プロセッサ)の調整について解説します。映写機のサポートも手薄になっており、映写技師が不具合を早急に発見し、さらに緊急時には自ら調整を行わねばならない場面も予想されます。技術の習得には経験が必要となりますが、その第一歩として今回は映写機の構造を理解し、不具合の原因を探る方法を学びます。

【講師】山形康人(有限会社ヤマカタ映像部門技術者)/飯塚元伸(シネマテークたかさき映写技師)/神田麻美(映写技師)

【対象】フィルム映写経験者 【定員】初級・中級各10人

【申込制】1月25日より受付 コミュニティシネマセンター050-3535-1573(電話申込み)

【会場】高崎電気館

Fシネマ・プロジェクトとは

近年、急速に上映のデジタル化が進行し、多くの映画館・劇場からフィルム映写機がなくなり、フィルムで映画をみる機会は劇的に減っています。

多くの上映者が、フィルムで撮られた作品は、作り手たちの思いや意図を可能な限り再現するためにもフィルムで上映し続けたいと考えています。

100年をこえる映画の歴史の中で、デジタル化された作品は限られており、多くの映画はフィルムでしか上映することはできません。

フィルムでの上映環境を保持しつづけるためには何かが必要なのか、調査を行い、関係者のネットワークをつくり、フィルムの知識や情報を提供するウェブサイトを開発し、フィルムの魅力を伝えるための具体的な企画を実施する、それが「Fシネマ・プロジェクト」です。

Fシネマ・プロジェクトのウェブサイト「Fシネマップ(FcineMap)」fcinemap.com が、2016年2月にオープンします!

FcineMap(エフシネマップ) fcinemap.com

「Fシネマップ」は、フィルム上映のために必要な情報を提供するためのポータルサイトです。

サイトの概要

■作品情報>上映企画

Fシネマ・プロジェクトによるフィルム作品の上映企画を紹介

「蘇ったフィルムたち～東京国立近代美術館フィルムセンター復元作品特集」

「MoMAニューヨーク近代美術館映画コレクション」「永遠のオリヴェイラ マノエル・ド・オリヴェイラ監督追悼特集」「Fシネマ・ツアー～35ミリフィルムでみる日本映画傑作選」など。

■作品情報

フィルムで上映できる映画作品を保有している機関の連絡先リスト

◎映写機のある場所

フィルムで映画を上映することのできる映画館や公共ホールのリスト。

地域、映写機の種類など、キーワードで検索をすることができます。映写機やランプなどの型番等の情報も掲載、同じ機材を使用している施設を探することもできます。

◎機材・映写>移動・出張映写

主に移動映写業者の情報を掲載。

■機材・映写>修理・部品

映写機の修理、メンテナンス、部品の補充などの事業者を探すことができます。

■シネマガジン>インタビュー・コラム

Fシネマにまつわるさまざまなインタビューやコラムを掲載。

■映写相談室>Q&A

フィルム上映に携わる人向けの映写に関するトラブルQ&Aページ。

◎映写相談室>フィルム映写基礎知識

初心者向けの読み物ページと、映写に携わる人向けの映写用語集のページ、二部構成。

関連企画

2/11(木・祝)
～13(土)

2016年1月にスタートした「Fシネマ・ツアー2016～35ミリフィルムでみる日本映画傑作選」、高崎では「昭和歌謡映画特選」として『下町の太陽』『その人は昔』『赤いハンカチ』『昭和枯れすすき』の4本を上映します。

第30回
高崎映画祭
2016年
3月26日(土)～4月10日(日)
開催決定!